

第 3 章 上位計画と関連する計画

1. 芦北町総合計画

2. 佐敷城跡に関連する計画

(1) 芦北都市計画（芦北都市計画区域マスタープラン）

(2) 芦北町環境基本計画

(3) 平成 24 年度芦北町地域防災計画

(4) 芦北町水道ビジョン

第3章 上位計画と関連する計画

1. 芦北町総合計画

[平成22年3月制定]

平成17年に芦北町と田浦町が合併し、新しい「芦北町」が誕生したことを受けて、平成17年10月に芦北町総合計画が策定された。

芦北町総合計画（平成17年～26年）では、まちづくりの基本理念として「個性の光る活力あるまちづくり～個々の特性を活かし、やる気をサポートします～」を掲げている。その理念の下、「すべては21世紀を担う子どもたちのために」をテーマとし、郷土愛を育み、誇ることのできるまちづくりを実現するため、下記の6つの柱を軸に各種施策を展開している。



『芦北町総合計画（前期基本計画）』より一部抜粋

図3-1 芦北町総合計画目標

表 3-1 芦北町総合計画の施策大綱(佐敷城跡と関連する分野)

基本目標	施策大綱	基本項目
第3節 生きがいある働き場づくり	3. 自然や地域資源を活用した都市との交流	(1) 観光の振興
第4節 豊かな心の人づくり	2. 文化活動の推進と文化財の保護	(1) 文化・芸術の振興
		(2) 文化財・伝統芸能の保存と活用

『芦北町総合計画（後期基本計画）』より作成

各施策は、『芦北町総合計画（後期基本計画）』では、以下のように記されている。

第3節 生きがいある働き場づくり

3. 自然や地域資源を活用した都市との交流

(1) 観光の振興

③観光ルートの確立

・歴史文化、食文化と既存の観光資源等の融合を図ると共に芦北インターチェンジを基軸とした新たな観光ルートの確立に努めます。

第4節 豊かな心の人づくり

2. 文化活動の推進と文化財の保護

(1) 文化・芸術の振興

③文化施設の整備と活用

・文化活動の拠点施設となる社会教育センター、町民総合センター及び地域活性化センターの機能及び利便性の向上を図るとともに、利用の目的や規模に適した活用を促進します。

(2) 文化財・伝統芸能の保存と活用

①文化財の保存啓発

・文化財を継続的に調査・研究し、その成果を公表することで文化財の価値の共有を図り、文化財保護意識の高揚を図ります。

②文化財の調査・保存

- ・事業者や関係機関と連携し、開発行為等による埋蔵文化財の破損防止に努めます。

③文化財の活用

- ・学校教育、社会教育分野で活用できる文化財については、誘導サインや案内板等の設置など周辺整備を推進します。
- ・史跡佐敷城跡には、県内外から多くの人を訪れることから、佐敷地区の歴史的観光資源として活用を図ります。

現行の芦北町総合計画は、平成 17～26 年の 10 年間を計画の期間としており、現在は後期基本計画（平成 22～26 年）の期間に当たる。

前期基本計画（平成 17～21 年）は、史跡佐敷城跡が国史跡に指定される以前の平成 17 年に策定されており、当時は国史跡指定を目指すことも含めて、総合計画中に史跡佐敷城跡の保存及び活用の施策は具体的に記載されていない。そのため、前期基本計画では史跡佐敷城跡の存在は希薄である印象は否めない。

後期基本計画では、史跡佐敷城跡を歴史的観光資源として活用する旨が施策で謳われているが、国史跡指定地と周辺地域を含めた総合的な保存管理体制には個別には触れられていない。

今後、芦北町が新たに策定する総合計画では、史跡佐敷城跡について施策の目標や方向性を明文化し、史跡佐敷城跡及びその周辺地域に対する芦北町の姿勢を明確化する必要がある。

2. 佐敷城跡に関連する計画

(1) 芦北都市計画（芦北都市計画区域マスタープラン）

[平成 16 年 5 月制定 熊本県]

基本目標	地域ごとの市街地像	都市空間決定の方針
自然環境と調和した芦北らしい生活空間の創造	都市機能・拠点の形成 城山公園、本町通り周辺は、歴史・文化を活かす新しい町の顔として既存の観光施設と連携を図りつつ観光機能を強化する。	都市内の緑地又は都市の風致の維持に関する方針 城山公園周辺の緑地については、公園施設及び周辺緑地と歴史的町並みが一体となった景観を保全するため、都市緑地、風致地区等について検討する。
芦北らしい文化圏が形成されるまちづくりの推進	都市住民の憩いの場となる後援整備の推進 レクリエーションの拠点となる芦北海浜公園を有効に活用するとともに、生活に密着した公園や散策路、城山公園、水辺に親しめる場となる河川公園などを整備し、これらのネットワーク化を図る。	自然環境の整備又は保全に関する都市計画の決定の方針 <u>基本方針</u> 芦北海浜公園、城山公園、佐敷川緑地公園、湯浦川河川緑地公園の保全と整備を図る。 <u>配置方針</u>
	産業の活性化を図る拠点の育成 城山周辺地区では、佐敷地区まちなみ景観整備事業や城跡の公園整備が進みつつあることから、城下・宿場町の街並みづくりを一体的に進め、新たな拠点の形成を図る。	「特別誘導区域」である佐敷地区については、歴史的町並みと調和した自然環境の保全を図る。 <u>都市計画制度の方針</u> 城山公園周辺での風致地区の検討。

(2) 芦北町環境基本計画

[平成 22 年 3 月制定 芦北町]

基本理念	基本目標	施策の方向
自然の恵みと生活の豊かさがともに実感でき、だれもが安心して暮らせるまちづくり	ふるさとの歴史・文化を学び伝え、創造するまちづくり	① 貴重な歴史文化財産を知り守る。 ② 自然と共生した心豊かな文化的な生活をする。

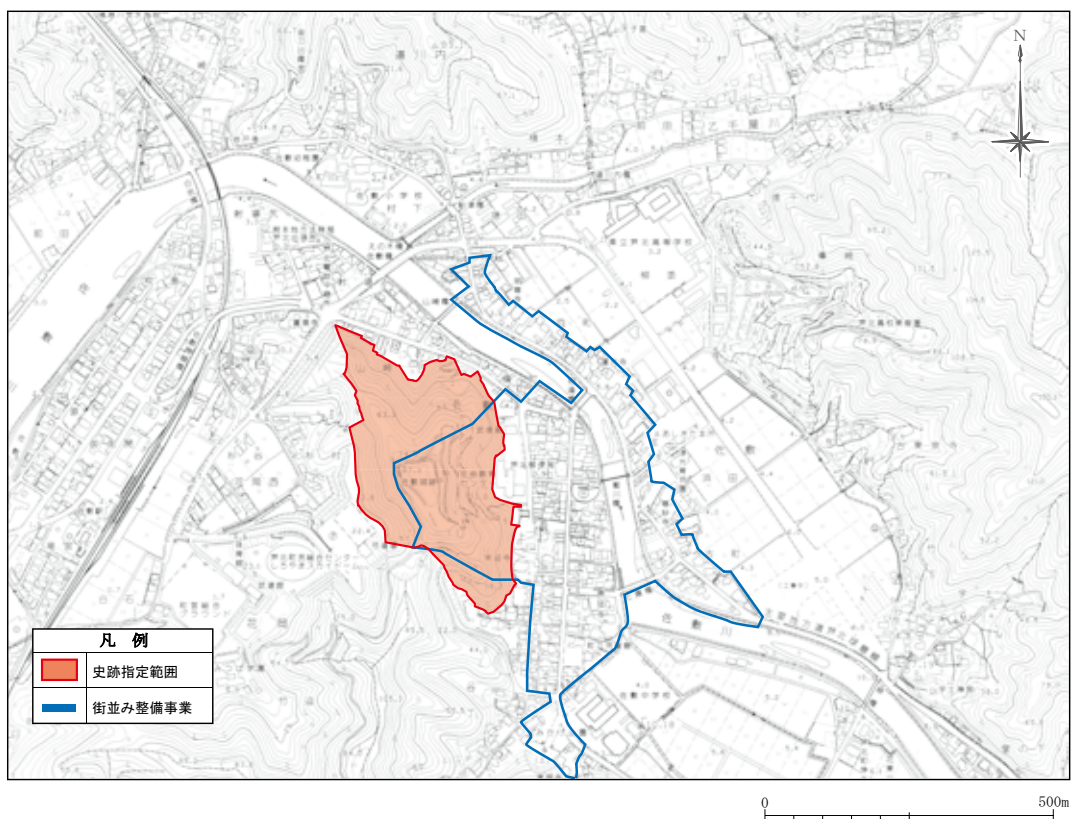


図 3-2 佐敷地区街並み環境整備区域図

(3) 平成 24 年度芦北町地域防災計画

[平成 24 年 3 月制定 芦北町]

芦北町防災計画では、津波発生時、史跡佐敷城跡周辺地域（向町・本町・上町・新町・花岡東）の発生直後の緊急避難先として、史跡佐敷城跡が計画されている。

また、堤防決壊・溢水・土石流・急傾斜崩壊等発生時の一時的避難施設として、史跡佐敷城跡東側山裾にある芦北町社会教育センターが計画されている。

(4) 芦北町水道ビジョン

[平成 23 年 3 月制定 芦北町]

芦北町水道ビジョンでは、配水池本体の法定耐用年数を過ぎ老朽化が進んでいる施設や、建設当時と基準等が異なり配水池貯水量の容量不足になっている施設について、新たな配水地の建設、増設、更新等の検討を行うとしている。

現在、史跡範囲内にあたる史跡佐敷城跡南出丸に位置する城山配水池は、容量不足が指摘されており、平成 23・24 年度に史跡範囲外に移設し、既存のタンク施設は平成 25 年度に撤去する計画である。

史跡佐敷城跡南出丸所在タンク概要

配水池名	容量	構造	建設年	経過年数
城山配水池	1,030 m ³	PC 造	1973 年	38 年

